

# JCSSA

Japan Computer System Seller Association

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会ニュース

# NEWS

vol. 99

2025  
Winter

## CONTENTS

- ◆ p. 02 **JCSSA Activity Report**  
第3回新会員歓迎懇親会  
2024年度 JCSSA 管理職研修（後半）  
トレンドマイクロ見学会
- ◆ p. 03 **JCSSA Activity Report**  
米国エグゼクティブツアー  
第2回・第3回 New Normal AI Business(NNAB)
- ◆ p. 04 **JCSSA Activity Report**  
第3回クラウド勉強会  
第3回クラウド販売会議  
第20回ゴルフ交流会  
営業提案力研修 ～顧客提案力・営業力強化研修会～
- ◆ p. 05 **JCSSA Activity Report**  
SAJ × JCSSA 共催 第160回アライアンスビジネス交流会  
第13回 NIPPON IT チャリティ駅伝  
役員合宿  
2024年度 Q3 セキュリティセミナー
- ◆ p. 06 **JCSSA Activity Report**  
DISわあるど in 長崎
- ◆ p. 07 **Special Issue**  
ダイバーシティ推進フォーラム 2024
- ◆ p. 08 **New Member!**  
新会員紹介
- ◆ p. 09 **JCSSA INFORMATION**  
JCSSAのイベント
- ◆ p. 10 **JCSSA INFORMATION**  
理事のオフショット  
事務所のご案内

## 副会長挨拶



一般社団法人  
日本コンピュータシステム販売店協会

副会長 玉田宏一

## 「セキュリティ」を熟知する年に

あけましておめでとうございます。2025年がスタートしました。本年も会員増強とともに、業界の課題解決、社会課題の解決に取り組んでまいります。

2025年といえば、業界にとってはWindows 10のサポート終了に伴うPCのマイグレーションが一番の重要課題だと思いますが、同時に、セキュリティに対する対応も急務となっています。

AIの劇的な進化によって生まれる新たな脅威に、企業はどう立ち向かうのか。お客様を守るため、2025年は私たちがまずセキュリティを熟知することで、自信を持ってご提案できるようにすべき年でもあると考えます。

ITで日本を元気に。本年もどうぞよろしく願いいたします。

2025年1月27日

【発行】日本コンピュータシステム販売店協会広報委員会  
【発行人】田辺 正昭  
【編集人】窪田 大介  
【編集長】小山 敏之  
【制作】株式会社 BCN

# JCSSA Activity Report

October

10月

## 第3回新会員歓迎懇親会

### 新会員20社から37名が参加

2024年10月3日に、日本ビジネスシステムズ本社内のダイニング「Lucy's TOKYO」にて、2024年5月～9月入会の新会員をお招きし、協会幹部と相互交流を深めていただく懇親の機会をもった。当日は新会員20社37名、協会幹部・関係者40名の合計77名が参加した。2025年度も3回に分けて開催の予定。



2024年度の新たな仲間を歓迎

October

10月

## 2024年度 JCSSA 管理職研修(後半)

### 人の成長につながる期末評価とは

2024年10月11日、5月に実施した管理職研修「期初・期中編」の後半として、「期末編」を実施した。講師を務めたのはキャリア開発コンサルタントの五十嵐郁一氏。管理職および管理職候補の参加者が、期末における人事評価やフィードバック面談の方法などを、ケース演習やロールプレイングによって実践的に習得した。前半研修での学びをもとに、現場で実践した実務上の成果に関する討議も活発に行われた。



今回も参加者の満足度は非常に高く、「部下とのコミュニケーションをロール

前半に続き高い満足度

プレイングできる機会はなかったので、大変参考になった」「他社の同じ思いを持った管理者様と一緒に共感したり考えたりしてとても良い勉強になった」「評価時期前のタイムリーな開催で助かった」といった感想が聞かれた。参加者同士が切磋琢磨する、有意義な「学び合い」の場となった。

October

10月

## トレンドマイクロ見学会

### ユニークな企業カルチャーを紹介

2024年10月4日、トレンドマイクロの東京本社で交流促進見学会を開催し、31名が参加した。2023年11月に移転した新しいオフィスで、大三川彰彦取締役副社長が同社のユニークなカルチャーについて説明した後、オフィスツアーや台湾京劇のパフォーマンスが行われ、ご用意いただいたランチを通じて参加者同士の懇親を深めた。

参加者からは「社内の見学はもちろん、パフォーマンスについてもとても貴重な体験だった」、「パフォーマンスの迫力に圧倒された」、「素晴らしいパフォーマンスを取り入れる会社の姿勢が素晴らしい」などのご意見をいただき、オフィスツアーの枠を超えた企画内容が好評を博した。

好評だった台湾京劇



京劇メイクが迫力の大三川副社長



トレンドマイクロのカルチャーについて

[https://www.trendmicro.com/ja\\_jp/about/corporate-social-responsibility.html](https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/corporate-social-responsibility.html)

# JCSSA Activity Report

October

10月

## 米国エグゼクティブツアー

### 今年もシリコンバレーのトレンドを視察

会員企業から20名が参加

2024年10月14日～20日に、大塚裕司団長（大塚商会代表取締役社長）と林宗治副団長（ソフトクリエイトホールディングス代表取締役社長）をはじめとする一行20名にて、シリコンバレー、サンフランシスコエリアのITベンダー9社（Cisco Systems、Nutanix、Palo Alto Networks、Hewlett Packard Enterprise、HP Inc.、Intel、Advanced Micro Devices、Meraki、Salesforce）を訪問した。

このツアーは、会員幹事がシリコンバレーの最新トレンドを把握し、事業へつながる情報交換を行うことを目的とし、毎年定点観測を行う形で実施。今年もトレンドであるAIを中心に、各社の戦略やビジネス動向について最前



### 米IT大手9社を訪問

線の情報収集をすることができた。

2025年度の開催は10月12日～18日を予定しており、視察先は検討中。



視察レポート [https://www.jcssa.or.jp/tour\\_index2/](https://www.jcssa.or.jp/tour_index2/)

October

10月

December

12月

## 第2回・第3回 New Normal AI Business (NNAB)

### AI活用のノウハウを会員間で共有

2024年10月22日に今年度第2回 New Normal AI Businessをオンラインにて開催し、135名あまりが参加した。JCSSA会員企業のAIへの取り組みを共有する場で、テーマ1「生成AI時代の企業変革：成功への道筋」で講師を務めたのは、富士ソフト常務執行役員の三田修氏（写真下左）と生成AI部部長の河野恭太郎氏（写真下中）。国内外の生成AI活用状況についての比較や、社内での生

成AI活用の課題、生成AIの活用を促進するための具体的な取り組みをご紹介いただいた。テーマ2「全社で進化するAI活用：営業から人事まで」で講師を務めたのは、SB C&Sのスマートオペレーション推進本部部長の北澤英之氏（写真下右）。法人ビジネスやバックオフィスでのAI活用を多くの事例を交えてご紹介いただいた。

2024年12月9日に同じくオンライン開催した第3回には

300名あまりが参加した。テーマ1「Copilotに『触れて』『提案して』気づいた生成AI導入が従来のIT導入とは全く違う理由」で講師を務めたのは、ダイワボウ情報システムのクラウド・アプリケーション販売推進部部長の塚本小都氏（写真下左）と、クラウド・アプリケーション販売推進部ライセンスセンター係長の坂本旬氏。社内でのCopilotの利用状況やトレーニング方法、社員旅行での生成

AIのエンターテインメントなど、導入や活用事例についてご紹介いただいた。テーマ2「大塚商会 AIの取り組み」で講師を務めたのは、JCSSA名誉会長であり大塚商会の代表取締役社長の大塚裕司氏（写真下右）と、上席執行役員社長室長の久野浩一氏。AI活用の歴史と現在の取り組み、社内でのAI活用事例、社外向けのAIビジネス展開として、生成AIやCopilotの活用事例を紹介いただいた。



取り組みの具体策や事例を紹介

社外向けの提案やビジネス展開も

# JCSSA Activity Report

October

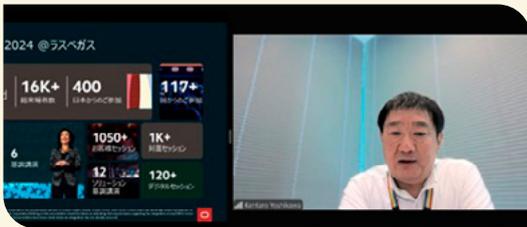
10月

## 第3回クラウド勉強会

### クラウド関連のトピックを解説

2024年10月23日に第3回クラウド勉強会をオンラインにて開催し、70名あまりが参加した。テーマは「OCI ~独自の進化を続ける第二世代のクラウド・インフラストラクチャー~」で、講師を務めたのはJCSSA会員でもある日本オラクルのクラウド事業統括クラウド・エンジニアリング統括の吉川顕太郎氏。

ラスベガスで開催された米 Oracle の年次イベント「CloudWorld 2024」での発表内容のダイジェストを交えながら、独自の進化を続ける Oracle Cloud Infrastructure (OCI) の最新情報、分散クラウド、ソブリンクラウド、GPU クラスター、クラウド・セキュリティ、生成 AI 関連技術など、今ホットな最新のクラウド関連テーマに関して最新情報を紹介いただいた。



「OCI」の最新情報を紹介

October

10月

## 第3回クラウド販売会議

### 実商談で得たクラウド事業の知見を披露

2024年10月23日に第3回クラウド販売会議をオンラインにて開催し、65名あまりが参加した。テーマは「NEC クラウド/データセンターサービス事業の取り組み」で、講師を務めたのはJCSSA会員でもある日本電気 (NEC) のクラウド戦略統括部の森崎康弘氏 (写真) と、サービスビジネス統括部の星大輔氏。企業のビジネスを支えるIT基盤として、NECが提供するクラウド/データセンターサービス事業の最新トピックス (最新データセンター、ハイブリッド環境を実現する「クラウド Hub」など) や、実商談から得た経験とノウハウに基づき、顧客へのアプローチシナリオや事例を紹介いただいた。



活用事例や提案シナリオを紹介

November

11月

## 営業提案力研修 ~顧客提案力・営業力強化研修会~

### 商談に即使える力を身につける



営業経験をもとに構築した特別プログラム

November

11月

## 第20回ゴルフ交流会

### 秋空のもとで懇親を図る

11月4日、相模原ゴルフクラブにて第20回を迎えるゴルフ交流会を開催し、68名 (18組) が参加した。プレー後の表彰式や懇親会は開催せず、プレー前に開会式をパーティールームで開催し名刺交換や懇親を図った。2025年度の開催は11月3日を予定しており、場所は検討中。

今回はプレー前に交流の場を用意



JCSSA 会員でもあるストラコムの代表取締役の坂本憲志氏より、同氏が数々の外資系 IT 企業において営業、営業マネジメントとして活躍された実績をもとに構築した「営業力強化のための研修プログラム」を実施いただいた。特別に編集した2日間コースで、2024年11月8日に前半を開催した。

「顧客志向の考え方をもとに、どのような提案をする事が顧客にとって受け入れやすいのか」「顧客に迎合するのではなく、真に顧客の成功を考え提案するにはどのようなプロセスで考えるのか」といった課題について、小手先の技術ではない根本的な考え方を共有し、ワークショップを行いながら応用力のある力を身につける。営業に求められる顧客対応力、提案型ビジネススキル、ビジネスプラン作成、情報分析など、提案型営業の育成はもとより、営業管理職にとっても重要な内容が豊富に盛り込まれており、即実践できる内容だった。後半は2025年2月に開催する。

# JCSSA Activity Report

November

11月

## SAJ × JCSSA 共催 第160回アライアンスビジネス交流会

### IT業界と関連企業の新たな連携を模索

ソフトウェア協会 (SAJ) との共催で、2024年11月12日に第160回の「アライアンスビジネス交流会」を、東京の山王健保会館とオンラインのハイブリッド形式で開催した。IT製品・サービスの作り手と売り手が、新たなビジネス連携の機会を求めて交流する恒例イベントで、両協会の会員4社が、自社の製品・サービスに関するプレゼンテーションを実施した。

マイクロソフトウェアはブロックチェーン技術を利用した電子契約システム、インターネットインフィニティは2025年4月施行となる改正育児・介護休業法に対応する仕事と介護の両立支援サービス、A-ZiPはExcelやAccessで構築された業務システムを刷新するノーコード・ローコードツールの「SAAP」、社会人向け教育プログラムの企画開発を行うGloableは専門学校と連携した人材獲得について解説した。

次回も両協会共催で2025年2月4日に実施予定。



終了後には懇親会も開催

November

11月

## 役員合宿

### 今年は鹿児島県で開催

2024年11月29日～30日に鹿児島県で、役員48名が参加する合宿を行った。霧島神宮を見学後、福岡市に本社を置くグループ・グーヴノーツ取締役会長の佐々木久美子氏より「最新テクノロジーを使った、時代に合わせた企業への取り組みについて」をテーマに講演いただいた。懇親会では、新規会員獲得ランキングの発表などを行った。

2025年度の開催は11月28日～29日を予定しており、場所は検討中。

役員48名が参加し霧島神宮を訪れる



November

11月

## 第13回 NIPPON IT チャリティ駅伝

### 天候の不安を吹き飛ばし今年も開催



開会に先立ち林会長があいさつ

2024年11月10日、お台場シンボルプロムナード公園のセントラル広場にて「NIPPON IT チャリティ駅伝」(主催:同実行委員会)が開催された。JCSSAが協力しているイベントで、会員企業もスポンサーやランナーとして名を連ねている。当日は降雨が心配されていたが、「この大会は過去雨が降ったことがない」という言い伝えがほぼ当たり、一時的な小雨程度で天候に恵まれての開催となった。競技結果、個人のタイム等は公式ホームページに掲載されている。

第14回は2025年11月16日に開催される予定。

競技結果 <https://www.nit-run.com/>

December

12月

## 2024年度Q3セキュリティセミナー

### セキュリティへのAI活用の実態は

2023年度より、サイバーセキュリティに関する最新技術や対策の動向をテーマとしたオンラインセミナーを定期開催している。2024年度第3四半期は、12月16日に「セキュリティへのAI活用」をテーマにパネル形式で実施した。

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ、ディープインスティクト、日本IBMをパネラーに迎え、SB C&Sのエヴァンジェリストがモデレーターとして参加。最近の脅威動向について各社の見解を述べ、セキュリティ分野にAIが用いられてきた背景や、現在、そして未来に向かって、企業を守るためどのようなAI活用が必要なのかを議論した。

参加者からは、「現在のセキュリティ対策の必要性、攻撃者側のAI活用など、情報誌だけでは分からない内容が多く議論されていた」「セキュリティ分野におけるAIの脅威と活用についての実態を認識できた」といった声が寄せられた。

次回第4四半期では「XDR」をテーマに開催予定。

## 多彩な製品・サービスで業務効率化を後押し

ダイワボウ情報システム（DIS）が12月11日～12日に開催した年次イベント「DIS わあるど in 長崎」に、会員企業向けのエリアを設置し、2023年に新規会員となった10社がブースを並べた。会場は長崎市の「出島メッセ長崎」。会員企業は長崎の顧客やパートナーの獲得に向けて、各社の強みを生かした製品やサービスを紹介し、商機の拡大に取り組んだ。

アイアット OEC とインプリムはノーコード・ローコード開発ツールを紹介し、低コストで専門知識がなくても気軽にデジタルトランスフォーメーション（DX）を始められる点を訴求した。アイアット OEC はノーコードの業務アプリ作成ツール「アットポケット」を展示。1ユーザーあたり月額300円で利用できる低コストなどをアピールした。インプリムのノーコード・ローコード開発ツール「プリザンター」はユーザー数無制限で利用でき、「Community Edition」は無料、サポートサービスを受けられる「Enterprise Edition」は年間75万円。中小企業だけではなく、大企業の事例も生まれており、スタートDXを始め、必要に応じて導入範囲を拡大するケースが生まれているという。

LegalOn Technologies は法務に関するさまざまな業務を一貫して支援する基盤「LegalOn Cloud」の価値を訴求した。同基盤には契約の締結やAIレビュー、案件管理などさまざまな機能が備わっており、顧客のニーズに合わせて必要な部分から使い始めてほしいとした。

AIシステムなどを提供するトリプルアイズは、法人向けグループウェア「LINE WORKS」と連携するアルコールチェックサービス「アルろく for LINE WORKS」を披露した。ドライバーはアルコール検知器で判定するとともに、顔写真をスマートフォンでLINE WORKSに記録し管理者に送信する。画像認識AIを利用して写真から検査結果を自動で読み取れるようにするなど、業務効率化を支援する仕組みを備える。

日本オラクルは中堅企業向けのクラウドERP「NetSuite」を展示。プリンター用の互換インクやトナーといったオフィスサプライ品の輸入・卸売りを主軸に事業を展開するキュリエや、日本の伝統食品の製造を手がけグローバル展開に取り組んでいるちんりう本店などの活用事例を挙げ、有用性を訴えた。



林会長も長崎市の会場を訪れた

## サステナビリティやセキュリティ確保を支援

昨今注目が集まるサステナビリティの支援や、DXに取り組む上で前提となる組織のセキュリティ強化を支援する会員企業も多数出展した。

ディエスジャパンはCO2排出量を算定できるクラウドサービス「ファストカーボン」で脱炭素経営を支援し、企業イメージの向上などを後押しする。すでに手元にある会計データだけで数値化が可能。国際規格に照らした妥当性を第三者機関が確認しているといい、対外開示や温室効果ガス削減の取り組みの国際標準である「SBT 認定」の申請に使えるとアピールした。

ジインズはID管理システム「ADMS」を展示した。Active Directory やグループウェア等のアカウント管理を効率化する「ADMS IDM」、異なるネットワーク間におけるActive Directory のデータ同期を支援する「ADMS Lite」、シングルサインオンを実現する「ADMS SSO」を紹介。アカウント管理業務の効率化やゼロトラストセキュリティを支える強固なID管理が可能になる。主に全国の自治体での導入が進んでいるという。

アラクサラネットワークスは、同社が提供するネットワーク製品と米 Fortinet のセキュリティ製品を連携したソリューションを紹介し、自治体などへ導入を広げているとした。マネージドサービスプロバイダーのY2S はぜい弱性管理や監視・運用・保守サービスに加え、サーバーやネットワーク機器、クラウド環境の有人監視や、障害復旧対応、現地へのかけつけといった顧客のニーズに合わせたサービスを説明した。

グローバルで実績のあるSaaSを国内で販売するSaaSpresto は、総販売代理店となっている米 NAVEX の内部通報管理ツール「WhistleB」を展示。66言語に対応し、本社が一元管理するグローバル内部通報制度の構築をサポートする。



## ダイバーシティ推進フォーラム 2024

JCSSAは11月21日、「ダイバーシティ推進フォーラム2024」を開催した。日本のダイバーシティ（多様性）推進における現状と課題について、作家・メディアプロデューサーで羽生プロ代表取締役社長の羽生祥子氏に講演いただいたほか、JCSSAが実施した女性活躍に関する調査結果の発表、会員企業によるディスカッションなどを実施した。



作家・メディアプロデューサー  
羽生プロ 代表取締役社長  
羽生祥子氏

### 多様性の軽視は経営リスクに直結

羽生氏は「日本のダイバーシティ推進を阻む“性別ガチャ”克服法」と題し、男女間の差などダイバーシティに関する課題について解説した。

羽生社長は、女性だから、男性だからという理由で本人の個性や希望に関わらず生き方や働き方が決められてしまうことを「性別ガチャ」と表現し、日本の女性は男性と比べて正社員が少ないことや、理系人材が少ないことを具体例として挙げた。

しかし、投資家は企業の女性活躍に関する情報を重視している上、管理職側にダイバーシティに対する意識が低いと、女性だけでなく男性社員の離職などを招く可能性がある。「ダイバーシティ経営は、経営リスクと直結する時代になった」（羽生氏）。多様性がなく1種類の人だけで集まった組織は、「自分たちの集団を過大評価する」「外部からの意見や警告を無視する」などの状況に陥ってしまう恐れがある。逆に多様性が高い企業では、収益に占める新製品の割合が高いなど、経営へのメリットをもたらす例もあるとした。

### 取り組む企業は多いが成果はこれから

第2部は、「JCSSA女性活躍推進調査2024」の結果を参照しながら議論した。調査は会員企業430社を調査対象とし、129社が回答。そのうち59%が「女性活躍推進の取り組み



が行われている」と答え、取り組みを計画中の企業を含めると約7割に達した。BCN代表取締役社長の奥田芳恵氏は、調査結果を受け「（多くの会員企業が）女性活躍推進の必要性を感じていることがうかがえる」と分析した。

その一方で、サポート的な仕事や細かい事務処理は男性と女性のどちらが担当することが多いかについては、男性が多いとの回答はわずか2%だった。

パネルセッションでは羽生氏のほか、（左下写真左より）SCSKで理事およびSE+管理本部長を務める堀田真杉氏、エムオーテックス代表取締役社長の宮崎吉朗氏、日本AMD代表取締役副社長の関路子氏、ダイワボウ情報システム西日本営業本部副部長の堤康次郎氏が登壇。

ダイワボウ情報システムの堤氏は、昇給・昇格の枠組みに男女差はないものの結婚、出産、育児などを経験して管理職に就いた女性社員が社内に少なく、ロールモデルがないことを課題として挙げた。エムオーテックスの宮崎氏も、女性管理職が不足しているという点で同じ課題を抱えているが、働き方改革に取り組んだことで女性活躍の土壌はできあがっているとした。SCSKの堀田氏は、社内にロールモデルはほとんどいなかったとした一方で、ロールモデルは女性や社内に限定しなくてもいいとの見解を示した。日本AMDの関氏は、あえて女性を登用するプログラムは設定していないものの、女性が仲間として働いていることが普通となるよう、意識して環境をつくるようにしていると説明した。

JCSSAではダイバーシティ推進分科会が2024年度新たに立ち上がった。調査やネットワーキングなどの活動を通して、企業のダイバーシティ推進における課題解決に貢献する。

# New Member!

月別社名五十音順

お役職 / お名前：協会代表者役職名 / 協会代表者 氏名

October

10月



## 株式会社エフコム

正会員 <https://www.f-com.co.jp/>

営業本部 本部長代理 鞠子 政明

December

12月



## 株式会社アキュアズ

正会員 <https://www.acurez.co.jp/>

代表取締役 小林 秀道



## 株式会社ダイレクトクラウド

賛助会員 <https://directcloud.co.jp/>

取締役 CPO 大野 朋克



## INTERLINE 株式会社

正会員 <https://interline.co.jp/>

代表取締役 姜 勝九



## 株式会社日立システムズ

賛助会員 <https://www.hitachi-systems.com/>

第一パートナー営業本部 本部長 佐藤 礼



## 株式会社 HRBrain

賛助会員 <https://www.hrbrain.co.jp/>

上席執行役員 COO 永山 康樹

November

11月



## 株式会社エフアンドエム

正会員 <https://www.fmltd.co.jp/>

取締役 上枝 康弘



## 株式会社シーティーエス

正会員 <https://www.cts-h.co.jp/>

マーケティング本部 本部長 金井 一智



## 株式会社 Kiva

正会員 <https://kiva.co.jp/>

代表取締役社長 野尻 航太



## ジェイズ・コミュニケーション株式会社

正会員 <https://jscom.jp/>

代表取締役社長 愛須 康之



## 株式会社 TechnologyDock

正会員 <https://technologydock.jp/>

代表取締役社長 神山 裕介



## ディー・クルー・テクノロジーズ株式会社

賛助会員 <https://d-clue.com/>

営業部 部長 今村 琢也



## ラモ・テクノロジー株式会社

正会員 <https://lamo-tech.com/>

代表取締役 広瀬 倫理



## ヨリソル株式会社

正会員 <https://yorisol.co.jp/>

代表取締役 南 強志

January

1月

## クラウド推進委員会ゴルフ交流会

日時 ▶ 1月11日(土)

場所 ▶ 袖ヶ浦カントリークラブ 新袖コース  
千葉県千葉市若葉区富田町 1140

## 新春セミナー・賀詞交歓会

詳細・お申込み ▶ <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202411050001>

日時 ▶ 1月27日(月) 15:30-18:30

場所 ▶ 帝国ホテル  
東京都千代田区内幸町 1-1-1

February

2月

## SAJ × JCSSA 共催 第161回アライアンスビジネス交流会

詳細・お申込み ▶ [https://www.saj.or.jp/M02/event\\_home/MzY0NjC2AAA](https://www.saj.or.jp/M02/event_home/MzY0NjC2AAA)

日時 ▶ 2月4日(火) 15:30-17:00 (懇親会 17:00-19:00)

場所 ▶ ハイブリッド開催 山王健保会館 | Zoom ウェビナー  
東京都港区赤坂 2-5-6

## 第2回情報システム取引者育成プログラム基礎講座

詳細・お申込み ▶ [https://www.system-tr.jp/?page\\_id=3](https://www.system-tr.jp/?page_id=3)日時 ▶ 前半 2月6日(木) 14:00-15:00  
後半 2月13日(木) 14:00-15:00

場所 ▶ Web開催

## 関西賀詞交歓会

日時 ▶ 2月7日(金) 17:00-19:00

場所 ▶ ザ・リッツ・カールトン大阪  
大阪市北区梅田 2-5-25

## 中部交流会

日時 ▶ 2月13日(木) 17:00-19:30

場所 ▶ バッファロー 本社  
名古屋市中区大須 3-30-20 赤門通ビル 9F

## 営業提案力研修 ～顧客提案力・営業力強化研修～ 後半

日時 ▶ 2月21日(金) 9:30-18:00

場所 ▶ 市ヶ谷健保会館  
東京都新宿区市谷仲之町 4-39

March

3月

## 3月定例セミナー

日時 ▶ 3月6日(木) 16:00-17:00

場所 ▶ Web開催

## マイブームの「銭湯に行こう会」

副会長 松本裕之

「健康経営の推進」と会社から言われ無理やり……いえいえ、喜んでウォーキングに励んでおります。どうしたら楽しく歩けるのか？ いろいろ悩んだ結果、「皆で銭湯に行こう会」が発足し、月に一度の会合が始まりました。

ただ銭湯に行くだけではありません。目的の銭湯を決めたら、そこから10kmの円を描き、円周上から銭湯へ向かって歩くというスタイルです。16時集合と決め、大体2～3時間をかけて自分



東京・浅草の「嗜湯」

のペースで歩くのですが、夏場はもう汗だく。着替えをもって行き、お風呂でサッパリし疲れを癒します。サウナ付きだと皆サウナでまったり。良い感じですよ。

基本的に古い東京の江戸の湯

風情を感じられる銭湯に行くのですが、超熱々の我慢風呂などもあり、江戸の文化を実感できる大変楽しい会合です。そして銭湯を出たら、すぐ近くの町中華や居酒屋へ。長距離を歩いて罪悪感が消えたせいで、皆で超暴飲、超暴食。フラフラで帰宅後体重を測ると……あれ？ 10km歩いたのに変わらない。むしろ……。

そんな素晴らしい会が私のマイブームです。江戸風情を楽しみながら、皆さん歩きませんか？

## JCSSA 事務所のご案内

〒100-6208  
東京都千代田区丸の内 1-11-1  
パシフィックセンチュリープレイス丸の内  
(受付13階)  
TEL:03-6860-8254



JR「東京駅」京葉線連絡 徒歩4分  
JR「東京駅」八重洲南口 徒歩5分  
東京メトロ銀座線「京橋駅」徒歩5分